

自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園

名寄カトリック幼稚園

2017年2月24日

1. 本園の教育目標

『 おいのり・しんせつ・がまん 』

- ・キリスト教の教えに基づいて、日々の生活の中で人を大切に、互いを思いやることのできる豊かな心を育てます。
- ・明るく元気でたくましく、伸び伸びしたなかでも、礼儀正しい生活を大切にしています。
- ・友達と仲良く遊び、協力し、楽しく生活する中で、人への愛情や信頼感を感じ、すすんで善い行いをする心を養います。
- ・表現活動やさまざまな遊びを通して、神さまから与えられた力を十分に発揮し、豊かな感性、創造力を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

『 互いに認め合える子 』

- ・すすんで挨拶をし、明るく温かい幼稚園を目指す。
- ・友達と互いに認め合い、力を合わせて園生活を進める。
- ・丈夫な体を作るために、食べ物に興味を持ち、楽しんで食事をする。
- ・神様のお創りになったすべての物を愛する心を育てる。
- ・世界中におなかをすかせている友達がいることを知る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
<p>1 保育の在り方 保育の計画性</p> <p>保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り、横割り混合の保育形態を生かし、クラスの枠に囚われず、職員全員で園児達と関わられるように工夫し、話し合っている。 ・食育は、1年を通し段階を経て、全クラス統一のテーマを定め取り組んだ。具体的なテーマを定めることにより、取り組み状況と園児の出来ることや課題が明確になった。 ・学期毎に職員で反省会を行い、保育を振り返る時間を設けている。自分自身の反省点を再確認し、新学期に生かすことが出来ている。反省会を通して互いの反省点を共有し、職員同士が切磋琢磨し合うきっかけが生まれるよう臨みたい。 ・今年度は意識して自由遊びの時間を確保した。その中で、コーナー遊びや新しい遊びの提供をしたことにより、園児同士の衝突が減り、園児自身が遊びを選択する姿が見られた。 ・保育目標を心に留め日々の保育を進めることで、園児同士が互いの良い点に気づき、保育者や園児へ伝える姿があった。今後も、相手を認められる思いやりの心が育つよう見守りたい。
<p>2 幼児への対応</p> <p>安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしないよう、自由遊びの際の環境構成を工夫し、道具の基本的な使い方を徹底したり、配置に配慮した。今後も、園児達に危険のないよう必要に応じて環境を整えたい。 ・職員1人ひとりが子どもとの関わりを深め、多面的に子どもを見ることにより、クラスの分け隔てなく園児を理解し、その理解を職員で共有し、保育に生かすことが出来た。また、その結果、園児達が安心して園生活を過ごせたり、自分を発揮することが出来る環境が生まれた。 ・全職員が、園児の発達や課題について見通しを持ち、1人ひとりと関わるよう心掛けた。その結果、園児の成長を助長することが出来た。
<p>3 保育者としての資質</p> <p>保育専門家としての能力、姿勢、責任等、資質向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として、園児の成長を自分の喜びと感じ、生き生きと保育に努めることが出来た。 ・カトリック幼稚園という意識を高めるため、月に1回キリスト教について学ぶ機会を設けている。 ・園児のこと、クラスの出来事等で必要なことや問題点等は、常に職員間で報告・連絡・相談し、対応した。また、保護者からの質問や要望に関して、適切な相談・対応することにより、職員間の連携が深まった。 ・2年目となる製作の日の活動は、園児の成長をより感じる機会となっている。それだけでなく、教材選びや使う素材に関して、職員同士が情報交換することにより、保育者としての質の向上も期待できそうだと感じている。 ・行事の遂行に関して、職員1人ひとりが意識を高め、取り組むことが出来た。
<p>4 保護者への対応及び 家庭との連携</p> <p>園児に関わる情報の発信や受信、保護者のニーズの把握、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談があった時には、職員会議等で検討し、園の方針と状況、平等性を考慮しつつ、出来るだけ応えられるよう努力した。今後も、保護者が相談や要望を伝えやすいオープンで温かい雰囲気作りを心掛けたい。 ・年度の途中の振り返りの中で、保護者との連携に関する課題に気づき、新学期には改善しようと努力することが出来た。連携方法や対応の仕方等、職員同士で刺激し合いなが

	<p>ら、次年度は年間通して連携出来るよう心掛けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最適な方法で保護者と連携するため、連絡内容と方法を再確認した。職員間で統一して取り組むことで、連絡ミスを防ぎたい。
<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターやこどもらんどとの連携を密にし、子どもの成長を地域の機関と見守れるよう心掛けた。 ・小学校での給食体験は、良い交流の場となっている。次年度は、給食体験に限らず、幼稚園・小学校・保育所との交流を期待したい。 ・親子教室の充実に努めた。園児との交流は焼きいも等、昨年度同様継続して行うことが出来た。今年度は、年齢の差が大きいという特徴があったため、「遊び」をメインに保育を計画した。今後も、子どもの状況に応じて保育を計画したい。 ・園庭解放は、使用時間や遊びのルール等を周知するため、玄関・掲示板にポスターを掲示した。また、必要に応じて、おたよりに約束事を記載した。今後も怪我のないよう保護者の方の協力を仰ぎながら、状況に合わせて対応したい。
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の研修会に参加し、職員同士学んだことを分かち合い保育に生かすことが出来た。今後も積極的に参加したい。 ・毎年反省点の多い保護者との連携に関して、今年度は園内研修を行った。学期毎の振り返りを互いに発表し合うことで、他の職員の姿勢を参考に、職員1人ひとりの保護者との連携に対する意識が高まった。 ・絵本作家の講演会に参加し絵本の良さをより深く実感したり、食育の研修会に参加し「うまみ」について学ぶことが出来た等、保育に生かせる内容の研修会に参加する機会に恵まれた。今後も様々な分野の研修会に参加し、保育の充実に努めたい。
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園日より等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と園との相互理解を深めるため、学校評価を実施し公表している。 ・園児達の園での様子がわかるよう、その日の出来事をホームページ（ブログ）で更新している。今年度も引き続き、ブログに写真を添付するよう心掛けた。また、各行事の様子を伝える為に、ポスター掲示を行っている。今後も、保護者に園での園児達の様子を伝えられるよう、ブログの更新、ポスター掲示を続けたい。 ・クラスだよりの内容は、保護者に園児の姿がわかりやすく伝わるよう内容を深め、レイアウトを工夫した。次年度は、クラス担任の目線を重視して、内容を深めたい。

・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・各自の自己点検、評価の結果に基づき職員会議を行った。取り組むべき課題について、全職員が共通理解し、それぞれが取り組み状況を話し合うことで本園の方針を明確にし、課題を再認識することが出来た。 ・正職員、パート職員の分け隔てなく改善点を伝え合い、臨機応変に環境を整えることが出来た。 ・園児の遊び、生活の姿をクラス担任が多面的に把握することを目的に、バス添乗の職員を増員した。今後も、現状を維持しながら、より良い保育が出来るよう努力したい。 ・様々な個性を持つ園児が在園することにより、すべての園児が過ごしやすい園作りを保育者が考え、保育の見直しをするきっかけとなった。また、園児同士も互いに認め合う心が育った。 ・園児自身が危険に気づいて過ごせるよう指導を続けてきたが、未だ身に付かない現状がある。次年度は、さらに意識づけをする必要を感じている。

・今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 み 方 法
保育の在り方	・製作の日の楽しみにする園児の姿が見られたため、次年度も取り組みを続け、園児が楽しめる製作活動を計画する。
幼児への対応	・1人ひとりの心が満たされるよう、全体を把握しながらも個々の関わりを大切に過ごす。
情報公開	・クラスだよりは、縦割りクラスの様子だけでなく、横割りクラスの様子も掲載し、様々な園児の姿を発信する。

6 . 学校関係者の評価

<p>◎評価方法は『A(満足)』『B(やや満足)』『C(やや不満足)』『D(不満足)』の4段階で、感想等も記入して頂く方法で実施。</p> <p>1. 「保育の在り方・保育の計画性」… A : 24名 B : 3名 C : 0名 D : 0名</p> <p>「縦割り保育は大賛成。」「製作の日の活動は、確実に上手になっており豊かな表現が出来るようになった。ぜひ、続けてほしい」「食育を通し、嫌いな食べ物が食べられるようになった。」「毎月様々な行事が計画され、子どもも親も楽しみが多い。」等の回答、「行事の練習中は、動きを制限されることが多いので、ストレスを発散できるような対応が必要。」「水遊び、雪遊びの回数が少ないと感じる。」「横割りクラスでの活動が増えると良い。」という意見をいただいた。</p>
--

2. 「幼児への対応」…A：19名 B：7名 C：1名 D：0名

「職員配置や遊びの場の環境整備が工夫されており、安心している。」「子どもとの関わりをよく持ってくれている。」「担任の先生に関わらず、全ての先生に見ていただいて、縦割り・横割り保育の良さが生かされていて良い。」「クラスの分け隔てなく、全ての園児を目にかけてくれているという実感がある。」等の回答や、「園児の人数に対して、職員が少なく見えることがあった。」「年少児・満3歳児に気を取られ、先生が年中長中児の怪我に気付いていないことがある。」「園バスに乗り込む際、先生より先に園児が歩道に出てしまい、自転車とぶつかりそうになるという場面があった。」という指摘をいただいた。

3. 「保育者としての資質」…A：20名 B：7名 C：0名 D：0名

「先生方1人ひとりの子どもに対する感心・意識を高く感じる。」「先生、職員の方がいつも笑顔で接してくれ、子どもも親も穏やかに安心して通園出来る。」「いつも優しく、必要な時には厳しくしてくれ、子どもも先生が大好きだ。」「担任の先生だけでなく、補助の先生方とも関係が出来ていて、とても良い。」等という回答や、「互見授業やロールプレイング等をして、保育スキルのブラッシュアップをはかる機会を設けては？」という意見をいただいた。

4. 「保護者への対応」…A：21名 B：3名 C：3名 D：0名

「伝達事項等のもれがなく、情報が共有されており、対応も素晴らしい。」「長期休みの後、園での子どもの様子を伝えてくれて助かった。」「保護者が心配している子どもの課題点や様子について聞いてくれて、その後、解決出来るように気にかけて保育をしてくれる。」「子ども達への温かな声かけだけでなく、保護者へも園での子どもの様子をお話してくれたり、時々温かく言葉掛けしてくれる、お話ししやすい雰囲気が好き。」等という回答や、「送迎時、先生に会うことがなければ、園での子どもの様子があまりわからない。もっと、子どもの様子が知りたい。」「行事で用意する物は、もう少し早く教えてほしい。」という要望をいただいた。

5. 「地域社会との連携」…A：21名 B：5名 C：0名 D：0名（無回答1名）

「特に、こどもらんど等との連携がはかかれていた。現状を支持する。」「子ども会は、子どもも楽しく通え交流の場にもなり、幼稚園に行きたいと思うきっかけになった。」「小学校との交流は、今後も続けてほしい。」「地域社会と連携しながら、園外活動にて様々な経験を子ども達にさせてくれていて、とてもありがたい。」等という回答や、「給食体験だけでなく、他園との交流もあると良い。」「年長児だけでなく、年中少児も他機関と交流できる機会があると良い。」「冬は、スキー場での遊びを取り入れては？」という要望をいただいた。

7. 「情報公開」…A：21名 B：5名 C：1名 D：0名

「毎月お便りに書かれている文章に、子ども達への愛情が感じられる。また、保護者として教わる内容の時もあり、一緒に子育てをしている安心感を得られる。」「ブログは、普段見ることの出来ない園生活を垣間見られて楽しみにしている。」「行事ごとのポスター掲示は、毎回楽しみにしている。今後も続けてほしい。」「クラスだよりで、横割りの様子も伝えてほしい。」「ポスターは、祖父母世代が読みやすいよう、もう少し大きく字を書いてほしい。」という要望をいただいた。

その他…「子どもの話や様子から、心に寄り添う温かさをいつも感じ、感謝している。」「先生方、園の雰囲気がとても良く、安心して通園させることが出来ていることを、とても嬉しく思っている。」「いつでも気軽に声をかけられる雰囲気が大好き。子どもが「先生大好き！」なことも、親として嬉しい。」「先生方はもちろん、保護者の方々も良い方達ばかりで、笑顔あふれる楽しい雰囲気の幼稚園である。」「月1冊からでも良いので、少しずつ新しい絵本が充実していくと良いと思う。」等という回答をいただいた。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間にも周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。